

## 災害ボランティアセンターとは

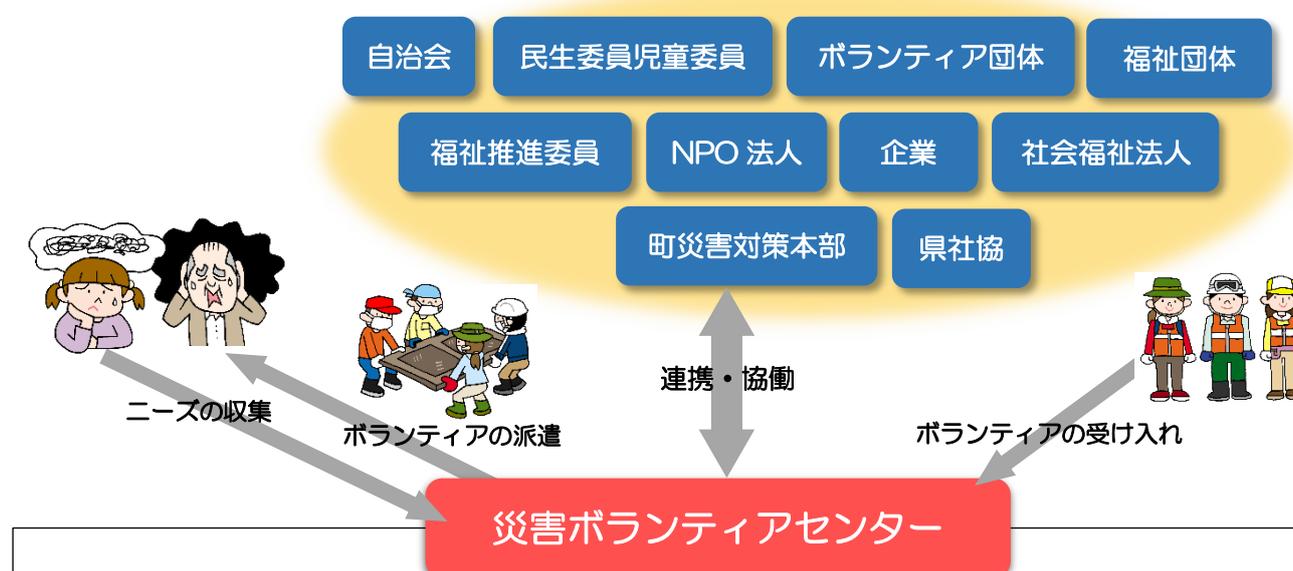
災害が発生した際に、ボランティアによる支援が必要な人と支援活動を希望するボランティアをつなぎ、活動を調整する拠点が「災害ボランティアセンター」です。

ボランティアによる支援の力を有効に活かし円滑に進めるためには、このような中心となる拠点が重要です。また、センターの運営により多くの人に関わることで、支援を必要としている人に支援を届けやすくなります。

災害ボランティアセンターは、災害の規模に応じて設置されます。北方町の場合は、町の災害対策本部と協議したうえで、必要に応じて社会福祉協議会が設置します。

## 災害ボランティアセンターの役割としくみ

ボランティアによる支援を必要とする人（＝被災者）と、支援活動を希望するボランティアをつなぎ、活動の調整（マッチング）を行います。



### 【主な機能】

#### ① 被災者・被災地ニーズの把握

行政、自治会、民生委員児童委員など地域の実情を把握している方々の協力を得ながら、家の片づけ・清掃、避難所運営のお手伝いなど、生活の要望（ニーズ）や困りごとを収集します。



#### ② ボランティアの受け入れ

災害ボランティアセンターを設置したことを、ホームページやSNSで情報発信し、活動を希望するボランティアを募集します。

ボランティアの募集は原則事前登録制です。事前に活動希望日等を登録し、その登録した日時に災害ボランティアセンターに来ていただく必要があります。



#### ③ 活動調整（マッチング）と備品の貸出

収集したニーズに合わせて、ボランティアの活動先や人数、日時等を決定し、ボランティアを派遣します。派遣する前には、ボランティアに対し、具体的な活動内容や留意事項、必要な備品などを説明します。また、ボランティアに対して、必要な備品を貸し出します。



#### ④ 活動報告・振り返り

活動したボランティアから聞いた感想や意見などをもとに、改善策や今後の対応を話し合い、決定します。

また、災害ボランティアセンターの運営上の課題や、受け付けたニーズがボランティアで対応可能なのか等についても話し合います。

